

# 第59回高齢者排泄ケア講習会

日 時：2019年6月8日（土）14：50～17：00

場 所：アクロス福岡 7階 大会議室

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1 ※次頁の地図をご覧下さい

参加費：1,000円 募集定員：130名 Field<sup>\*</sup>：A(排尿管理)、D(その他)

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険他）

詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

## テーマ：高齢者医療の2大問題－認知症・ポリファーマシーについて－

● 製品紹介「過活動膀胱治療薬ステープラOD 0.1mg」 小野薬品工業株式会社

開会の挨拶：山口秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：服部文忠 先生（特定医療法人順和 長尾病院 理事長）

### 講演：『高齢者における薬物療法の注意点』

講師：兼重 晋 先生（福岡大学病院 薬剤部 副薬剤部長）

～講師からのコメント～

高齢者では、加齢に伴う生理機能の低下が生じるため、患者個々の状態に応じた薬物投与量を設定する必要があります。また、認知機能の低下や多剤服用による有害事象（副作用）の発生により服薬アドヒアランスが低下し、薬物療法に影響を及ぼします。本講演では「排尿・排泄に関する高齢者の薬物療法の注意点」について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

### 講演：『認知症と排尿障害』

講師：藤木富士夫 先生（原三信病院 脳神経内科 部長）

～講師からのコメント～

高齢者は、尿失禁、頻尿、排尿困難などの排尿トラブルを抱える事が多く、生活の質が度々損なわれている現状がある。こうした排尿トラブルの背景には、膀胱炎や前立腺肥大のような泌尿器科系疾患のみならず、脳脊髄～末梢神経にいたる神経疾患が潜んでいます。こうした神経因性膀胱による排尿障害の中でも、認知症に起因した排尿トラブルへの理解は重要である。治らない、治せない疾患であるが故の覚悟と付き合い方など、本人および介護者にとって安住となる方向はないのかなど私見を踏まえ考察したい。

閉会の挨拶：今丸満美 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、小野薬品工業株式会社  
後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

## 会場までのアクセス

